

き

爽やかなクレマチスの丘に憩う人

クレマチスの丘は愛鷹山の南東丘陵地にあり、三島駅から無料の直行バスも運行されている。この帯には美術館、文学館などの文化施設があり、長泉町の人気スポットとなっている。この丘の呼称である「クレマチス」の苗木の生産量は、全国シェア60%を誇る日本一の産地である。

し

下長窪の 田畑潤す 榎田用水

榎田用水は駿河平下の湧水を水源とする桃沢川支流の谷津川の水を、城山神社西方の榎田で取水し、約130mの隧道で下長窪の集落に送る用水である。水利の便のない下長窪にとって大変重要な水であった。今でも、農業用水や防火用水として利用されている。

す

過ぎし日の 恩顧慕いて 東照宮

明治維新後、徳川の家臣は各地に分散し自活の道を求めた。元長窪には78戸が入植した。彼らは昔の恩を思い、明治3年(1870)この地に久能山から東照宮を勧請し東照宮遙拝所を建て、後に名称も東照宮とし、大正5年(1916)現在地に移転した。今では元長窪の氏神様になっている。

せ

世界の竹集めて見せる 富士竹類植物園

富士竹類植物園は、タケ類専門の植物園で、昭和26年(1951)の開園である。西に富士山と愛鷹山、東に箱根連山を望む愛鷹山麓にあり、約4万mの緑あふれる広大な敷地の中に、日本国内や世界各地から集めた、約700種類のタケが観察できる世界一のタケの植物園である。

そ

騒乱の時代に在りし 長久保城

戦国時代の平山城で、戦略上の要害にあつたため今川氏、武田氏、北条氏、徳川氏がこの城をめぐる争った。発掘により三日月堀(甲州流の築城術)や畝堀(北条氏の築城術)が発見された。城郭は大部分が失われ、僅かに長泉北小学校正門前の空堀・土塁・曲輪と城山神社境内の曲輪・土塁が残っている。

た

戦いの敵を防ぎし 高橋古戦場

高橋は、下長窪公会堂の十字路から南に進み、桃沢川にかかる橋である。桃沢川はこの付近で深くなっているため、沼津方面からの敵を迎え撃つ防衛線になっていたようだ。北条、武田、今川などの軍勢が長久保城の攻防に力を尽くし、武士たちは命をかけて功名を競ったところである。

ち

血に染まる 鎧洗し 鎧ヶ淵

長久保城をめぐる多くの武士が戦った高橋での合戦で、血に染まった鎧や刀を洗つたり、激戦で使用不能になった鎧を洗った淵といわれている。また、傷つき敵に追われた武者が馬を淵に乗り入れ、自ら命を絶つたという話も伝わっている。

つ

集い来て 共に楽しむベルフォーレ

長泉町文化センター(ベルフォーレ)は、800人収容のホール、イベントホール、会議室、和室、ほかに茶室やテニールラウンジなどがあり、平成8年(1996)に完成した。音響の良さという利点を活かして、町民をはじめ多くの人達に、最高の音楽や舞台を提供している。

て

寺にある 公立学校 映雪舎

明治5年(1872)の学制の施行により学校教育制度が整えられ、納米里の普向寺という曹洞宗の寺に、明治8年(1875)に「映雪舎」という公立小学校が開校された。校長は、住職の久我頑量が努め、開校時には男子42人、女子6人の生徒が学んでいた。

と

登山道 歩めば程なく 池ノ平展望公園

長泉町森林公園の遊歩道を登りきると、愛鷹山中腹の標高846mに展望台があり、壮大なパノラマが迎えてくれる。展望台からは、長泉町はもちろん駿河湾や箱根の山並を望むことができ、30倍望遠鏡が備えられた方位盤やテーブル、ベンチなどがある。ここから約1時間で「つるべ落としの滝」に行くことができる。

な

永年に 井上文学 読み継がれ

井上靖文学館は、北に富士、南に駿河湾を望むクレマチスの丘にある。白壁の純日本風の建物の中には、日本文学に偉大な足跡を残した作家井上靖の全著書や生原稿、創作ノート、写真、パネルや資料文献などが収蔵されている。

に

西の八幡 秋の彼岸に ことも相撲

明治8年(1875)に村社、平成2年(1990)に願掛八幡宮になり、主祭神は菅田別命(応神天皇)で、創建年代は不明だが下土狩区産土神社として崇敬が厚い。往年は祭典の当日境内で草相撲が催された。今でも秋の彼岸に子ども相撲が行われている。